

平成 2 6 年 度  
事 業 報 告

一般社団法人 日本工業用水協会

# 目次

<b>1. 会 務</b> .....	1
(1) 会員の現況 .....	1
(2) 総会 .....	1
(3) 理事会 .....	2
(4) 監事会 .....	4
(5) 協会運営委員会 .....	5
<b>2. 工業用水道事業の推進</b> .....	6
(1) 平成27年度工業用水道事業施策に関する要望 .....	6
(2) 工業用水道の更新・耐震化事業に対する継続的な国の措置に関する要望 .....	6
<b>3. 事 業</b> .....	7
(1) 調査研究業務 .....	7
(2) 出版に関する事業 .....	15
(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業 .....	18
(4) 受託調査等 .....	18

## 1. 会 務

### (1) 会員の現況

平成27年3月31日現在の会員は、下表に示すとおりである。

会 員 別	会 員 数	26年度	
		入 会 者	退 会 者
正会員	144	0	1
事業者	123	0	0
利用者	21	0	1
特別会員	44	3	8
関連産業会員	43	2	0
計	231	5	9

顧問：4名（内特別会員が3名）

### (2) 総会 第2回定時総会

日 時 平成26年6月3日（火）14：00～16：50

場 所 東京都文京区湯島1-7-5 東京ガーデンパレス 3階 平安の間

会員数 235会員（平成26年5月14日現在）

出席会員数 会長（代表理事） 愛知県丹羽企業庁長 ほか

出席会員 15社員

代理出席会員 28社員

議決権行使会員 34社員

委任状提出会員 115社員

計 192社員

来 賓 経済産業省大臣官房  
経済産業省産業施設課

河村審議官  
浜野工業用水道計画官  
ほか1名

総務省公営企業経営室

廣澤室長 ほか1名

国土交通省水資源政策課

小長井課長補佐

関東経済産業局企業立地支援課

梅村係長

（公社）日本水道協会

尾崎理事長

（一社）日本水道工業団体連合会

仁井専務理事

次 第 会長挨拶

来賓祝辞

会長表彰

議 題

I 議案

第1号議案 平成25年度事業報告（案）

- 第2号議案 平成25年度決算報告書(案)及び監査報告書  
第3号議案 理事5名及び監事1名の選任(案)

## II 報告事項

- (1) 平成25年度公益目的支出計画実施報告書
- (2) 平成26年度事業計画及び平成26年度収支予算書
- (3) 平成27年度工業用水道事業施策に関する要望事項(案)
- (4) 日本工業用水協会常勤役員の人事について経過報告
- (5) 会誌「工業用水」等の編集方針について経過報告
- (6) 工業用水道維持管理指針検討小委員会報告
- (7) 工業用水道事業費補助金交付要領細則及び工業用水道設計標準歩掛表改訂に係る小委員会設置
- (8) 団体保険制度創設

講演 前大阪広域水道企業団副企業長 吉田 八左右様  
(現 (株)クボタパイプシステム事業部顧問)

## 概要

会長の丹羽愛知県企業庁長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省河村審議官、総務省佐藤自治財政局長、国土交通省水管理・国土保全局越智水資源部長のご祝辞を賜った。その他にご来賓としてご出席いただいた方々等のご紹介を行った。引き続き会長表彰として功労賞10名、有効賞1名、勤続賞61名の内、当日参加の方々の表彰状授与式が執り行われた。

丹羽会長が議長となり、議事の開会宣言後、議長から出席状況について事務局に報告を求め、総会の成立が報告された。引き続き議事録署名人について、議長一任の発言に基づき、議長のほか、大成機工(株)鈴木代表取締役社長、前澤工業(株)若林部長を議長から指名した。

各議案について、議長から事務局に議案ごとの説明を求め、本郷専務理事が説明を行い各議案の承認を求めた。審議が行われ議案ごと決議され、すべて原案どおりに了承された。

最後に、前大阪広域水道企業団副企業長吉田様から「狭山池の魅力」について講演が行われた。

## (3) 理事会

### (3) . 1 第9回理事会

日時 平成26年5月14日(水) 14:00～15:20  
場所 東京都千代田区神田駿河台3-11-1 (TKP ガーデンシティ御茶ノ水2階 会議室)  
出席者 会長(代表理事) 愛知県丹羽企業庁長 ほか 22名  
内理事 7名(総数9名、平成26年5月14日現在)  
監事 1名(総数2名、平成26年5月14日現在)  
来賓 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官 ほか1名  
次第 会長挨拶  
来賓紹介  
議題

#### I 議案

- 第1号議案 平成25年度事業報告(案)  
第2号議案 平成25年度決算報告書(案)及び平成25年度公益目的支出計画実施報告書(案)及び監査報告書

- 第3号議案 入会の承認（案）
- 第4号議案 会長表彰受賞候補者の選考（案）
- 第5号議案 役員を選任手続について（案）
- 第6号議案 平成27年度工業用水道事業施策に関する要望事項及び実施（案）
- 第7号議案 平成26年度第2回定時総会招集及び議題並びに議案概要（案）

## II 報告事項

- (1) 日本工業用水協会常勤役員の人事について経過報告
- (2) 工業用水道維持管理指針検討小委員会報告
- (3) 工業用水道事業費補助金交付要領細則及び工業用水道設計標準歩掛表改訂に係る小委員会設置
- (4) 団体保険制度創設
- (5) 平成25、26年度のこれまでの事業経過報告

### 概 要

会長の丹羽愛知県企業庁長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省産業施設課浜野工業用水道計画官からご挨拶を賜り、次に同じく産業施設課担当官の紹介を行った。

丹羽会長が議長となり、理事会成立の報告に引き続き、各議案についてそれぞれ事務局に説明を求め審議が行われ、すべて原案どおりに了承された。

#### (3) . 2 第10回理事会（書面審議）

日 時 平成26年6月2日（月）

議 題 入会承認について

定款第36条（理事会の決議の省略）に基づき、役員に対し丹羽会長名で、特別会員1名の入会承認に係る書面決議を提案し、6月2日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

#### (3) . 3 第11回理事会（書面決議）

日 時 平成26年7月9日（水）

議 題 平成27年度工業用水道事業施策要望書

定款第36条に基づき、役員に対し丹羽会長名で、平成27年度工業用水道事業施策要望書に係る書面決議を提案し、7月9日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

#### (3) . 4 第12回理事会（書面審議）

日 時 平成26年12月4日（木）

- 議 題
- 第1号議案 工業用水道更新・耐震化、強靱化事業補助金に係る国の予算措置を求める要望活動の実施について
  - 第2号議案 工業用水道更新・耐震化、強靱化事業補助金に係る国の予算措置要望の事項、理由及び内容について
  - 第3号議案 要望書の記載内容の決定について正副会長にご一任いただくことについて

定款第36条に基づき、役員に対し丹羽会長名で、工業用水道更新・耐震化、

強靱化事業補助金に係る国の予算措置を求める要望活動の実施、要望事項、理由及び内容並びに要望書記載内容決定について正副会長への一任に係る書面決議を提案し、12月4日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(3) . 5 第13回理事会

日時 平成27年1月29日(木) 14:00～15:00  
場所 東京都千代田区神田駿河台3-11-1  
(TKP ガーデンシティ 御茶ノ水 2階会議室)  
出席者 会長(代表理事) 愛知県丹羽企業庁長 ほか26名  
内理事8名(総数13名、平成27年1月20日現在)  
監事3名(総数3名、平成27年1月20日現在)  
来賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名  
次第 会長挨拶  
来賓紹介  
I 議案  
第1号議案 平成27年度事業計画(案)  
第2号議案 平成27年度収支予算書(案)  
第3号議案 名誉会員選定に係る内規(案)  
第4号議案 関連産業会員の入会承認について  
II 報告事項  
(1) 平成27年度以降の役員について  
(2) 平成26年度のこれまでの事業経過報告  
(3) その他

概要

会長の丹羽愛知県企業庁長の挨拶に引き続き、ご来賓として出席いただいた経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官からご挨拶を賜り、次に同じく産業施設課担当官の紹介を行った。

丹羽会長が議長となり、理事会成立の報告に引き続き、各議案についてそれぞれ事務局に説明を求め審議が行われ、すべて原案どおり了承された。

(3) . 6 第14回理事会(書面審議)

日時 平成27年2月6日(金)  
議題 第1号議案 特別会員の入会承認について  
第2号議案 工業用水道事業費補助金交付要領細則及び工業用水道工事設計標準歩掛表改訂案の承認について  
第3号議案 会員名簿の取扱いについて

定款第36条に基づき、役員に対し丹羽会長名で、特別会員1名の入会の承認、工業用水道事業費補助金交付要領細則及び工業用水道工事設計標準歩掛表改訂案の承認並びに会員名簿の取扱いについて書面決議を提案し、2月6日に、理事全員の同意書、監事全員の通知書を受領し、書面による決議が成立。

(4) 監事会

日時 平成26年4月25日(金) 14:00～15:00  
場所 日本工業用水協会 会議室

出席者 福島県企業局 水野工業用水道課長  
大成機工（株） 鈴木代表取締役社長

概 要

定款第24条（監事の職務及び権限）に基づき、監事会で監事による平成25年度事業報告、決算報告書及び公益目的支出計画実施報告書の監査が行われ、会長宛に、それぞれ適正である旨の監査報告書が提出された。

（5）協会運営委員会

（5）. 1 平成26年度第1回協会運営委員会

日 時 平成26年5月9日（金） 15：00～16：40

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 愛知県企業庁種村技術監 ほか16名

来 賓 経済産業省産業施設課 木全課長補佐 ほか1名

次 第 開 会

議 題

- 1) 協会運営委員会（第3回）議事録（案）について
- 2) 第9回理事会提出議案について
- 3) 退任役員の手続き及び平成27年度以降の役員について（案）
- 4) 理事会終了後の意見交換について（案）
- 5) 工業用水道事業研究大会開催方法等について（案）
- 6) 日本工業用水協会常勤役員の人事について経過報告
- 7) その他

概 要

本郷専務理事の開会の挨拶に引き続き、委員はじめ来賓の経済産業省産業施設課木全課長補佐、村上係長等出席者による自己紹介が行われた。種村愛知県企業庁技術監が委員長となり、挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、前回議事録については、原案通りで確認され、第9回理事会提出議案については、決算報告書における差異の表記は税理士と相談の上修正を行う。また、工業用水道事業施策に関する要望事項については、定時総会以降実施までの間に理事会で再度調整することとして、理事会提出議案とすることで了承された。他の提出議題については、原案通りで了承された。

（5）. 2 平成26年度第2回協会運営委員会

日 時 平成26年12月17日（水） 13：00～15：00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 愛知県企業庁種村技術監 ほか18名

来 賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名

次 第 開 会

議 題

- 1) 協会運営委員会（第1回）議事録（案）について
- 2) 第13回理事会提出議案について
- 3) 平成27年度以降の役員（案）について
- 4) その他

概 要

本郷専務理事の開会の挨拶に引き続き、来賓の経済産業省産業施設課板倉工

業用水道計画官の紹介と挨拶を頂き、村上係長を紹介した。引き続き種村愛知県企業庁技術監の委員長挨拶に引き続き、次第に従い議題の審議が行われた。

その結果、前回議事録については、原案通りで確認され、第13回理事会提出議案については、理事会までに名誉会員選定に係る内規(案)を取りまとめ、当該委員会の了承のもと議案として追加することとした。他の提出議題等については、原案通りで了承された。また、理事会終了後の意見交換については、改めて調整を行っていくこととした。

## 2. 工業用水道事業の推進

### (1) 平成27年度工業用水道事業施策に関する要望

日 時 平成26年7月15日(金) 13:30～

参加者 会長 愛知県丹羽企業庁長 ほか11名

概 要

第11回理事会で承認された要望事項について、正副会長、役員、事務局代表で構成する要望団により、経済産業省、総務省、国土交通省水管理・国土保全局へ要望を行った。なお、経済産業省では要望団と河村大臣官房審議官、渕上産業施設課長、板倉工業用水道計画官、木全課長補佐等との意見交換を行った。

### (2) 工業用水道の更新・耐震化事業に対する継続的な国の措置に関する要望

日 時 平成26年12月17日(水) 11:00～

参加者 会長代理 愛知県企業庁種村技術監 ほか9名

概 要

第12回理事会で承認された要望事項について、正副会長、役員、事務局代表で構成する要望団により、経済産業省へ要望を行った。

なお、要望に当たっては、要望等の主旨を説明した後、津村産業施設課長、板倉工業用水道計画官、木全課長補佐等との意見交換を行った。

### 3. 事業

#### (1) 調査研究業務

##### (1) . 1 工業用水道事業研究大会

日時 平成26年10月8日(水)、9日(木)  
場所 福山市内 福山ニューキャッスルホテル  
出席者 170名  
来賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名  
中国経済産業局産業振興課 高橋係長 ほか1名  
総務省公営企業経営室 廣澤室長 ほか1名  
顧問 東京都市大学 綾名誉教授  
首都大学東京 小泉特任教授

##### 概要

開会挨拶の後、福山市上下水道局内田上下水道事業管理者から歓迎の挨拶があり、次いで経済産業省板倉工業用水道計画官並びに総務省廣澤公営企業経営室長から来賓の挨拶を頂き、顧問の綾東京都市大学名誉教授、小泉首都大学特任教授の紹介に引き続き、大会の運営方法について事務局より報告し了承を得た。

1日目の午前中は、指定課題Ⅰの「更新・耐震・強靱化への対策・対応状況」の取組について、福山市上下水道局柚木施設整備課長が座長となって進められた。最初に事務局からアンケート結果の報告、次いで大阪広域水道企業団、徳島県、北九州市から事例紹介が行われ、事例紹介、事前質問等をもとに、質疑、意見交換が行われた。続いて、午後の最初に「災害時における工業用水の有効活用」についての取組事例が、宮城県、三重県、神戸市からそれぞれ紹介された。引き続き、指定課題Ⅱの「施設の維持管理の対策・対応状況」について、広島県企業局岡田水道課長が座長となって進められた。指定課題Ⅱのアンケート結果を報告、次いで三重県、高知県から事例紹介が行われ、事例紹介、事前質問等で質疑、意見交換が行われた。引き続き、自由課題Ⅱ～Ⅳについて、事務局からアンケート結果の報告を行い、自由課題Ⅱ～Ⅳに関する、事前質問等をもとにした質疑、意見交換が行われた。

午後の後半は、指定課題Ⅲの「新会計基準への対応状況」について、岡山県企業局山下総務企画課経営推進室長が座長となって進められた。指定課題Ⅲのアンケート結果を報告し、続いて兵庫県から事例紹介が行われ、事前質問等をもとに質疑、意見交換が行われた。引き続き自由課題Ⅰのアンケート結果を事務局から報告し、広島県から事例紹介が行われ、事例紹介、事前質問等をもとに質疑、意見交換が行われ、総括的な質問等を綾顧問、小泉先生から頂き質疑、意見交換が行われた。また、経済産業省、総務省、綾顧問、小泉先生から意見、アドバイス、講評等をいただいた。

最後に来年度開催地の兵庫県企業庁米田次長から引き受けの挨拶をいただいた。

2日目は、昨年度から実施している工業用水道施設の視察、受水企業の視察を、福山市上下水道局等のご協力をいただき実施した。工業用水道施設は、福山市上下水道局箕島浄水場、受水企業はJFEスチール(株)西日本製鉄所をそれぞれ視察し、2日間の大会を盛会理に終了した。

##### (1) . 2 経営委員会・技術委員会の合同委員会(以下「合同委員会」という。)

- 日時 平成26年5月1日(木) 14:00～16:00  
 場所 東京、連合会館 4階会議室  
 出席者 経営委員会委員長 茨城県企業局河田業務課長、技術委員会委員長綾  
 顧問 ほか21名  
 来賓 経済産業省産業施設課 木全課長補佐 ほか1名  
 総務省公営企業経営室 笠井課長補佐 ほか1名  
 次第 開会  
 委員の紹介  
 議題  
 1) 工業用水道維持管理指針検討小委員会報告(報告事項)  
 ○平成25年度活動報告について  
 2) 平成26年度工業用水道事業研究大会について  
 (1) 検討課題の選定について  
 (2) スケジュール・開催(案)  
 3) 平成27年度工業用水道事業施策要望について  
 (1) 施策要望項目等について  
 (2) 要望の手順について  
 4) その他

#### 概要

経済産業省木全課長補佐、総務省笠井課長補佐からそれぞれご来賓の挨拶を頂いた後、河田経営委員長、綾技術委員長の進行により、「平成26年度工業用水道事業研究大会の課題等」、「平成27年度工業用水道事業施策に関する要望事項」等について、審議が行われた。

その結果、研究大会については、第1日目はこれまでと同様に事例紹介等を行い、第2日目は福山市上下水道局様のご協力を頂き工業用水道施設等の視察を行うこととした。指定課題は3件、自由課題は5件となった。

また、木全課長補佐より、工業用水道事業費補助金交付要領細則及び工業用水道設計標準歩掛表の改訂の検討要請があり、当該合同委員会において、これに係る小委員会設置が承認され、協会運営委員会及び理事会に報告し、具体的に進めることを確認した。

施策要望事項については、一部表現等の修正が行われ、審議結果に基づき委員長、事務局で調整後、合同委員会に報告するとともに、理事会、総会に提出することとした。

- (1) . 3 工業用水道維持管理指針検討小委員会  
 (1) . 3. ① 工業用水道維持管理指針検討小委員会(関連産業会員委員)  
 (平成26年度第1回)

- 日時 平成26年4月14日(月) 15:00～17:00  
 場所 日本工業用水協会 会議室  
 出席者 (株)日水コン高山企画部長、日本上下水道設計(株)大嶽副部長、  
 (株)クボタ鉄管研究部林課長、水ing(株)伊藤副統括、(株)日  
 立製作所山田主任技師、事務局3名  
 次第 開会  
 委員の紹介  
 議題  
 1) 工業用水道維持管理指針検討小委員会報告(案)(平成25年度  
 検討結果概要)

- 2) 平成26年度工業用水道維持管理指針検討小委員会スケジュール(案)
- 3) 修正案の作成について
- 4) その他

#### 概要

事務局が進行役となり、平成25年度活動報告、平成26年度スケジュール、各担当の章に係る修正案の作成の期日の確認及び全体整理の方法等の説明及び審議を行い、それぞれ原案どおりで承認され、全体の小委員会に提示することとした。

#### (1) . 3. ② 工業用水道維持管理指針検討小委員会(関連産業会員委員) (平成26年度第2回)

- 日時 平成26年8月19日(火) 15:00~18:30  
場所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 8名  
次第 議題  
1) 修正案の作成について  
2) その他

#### 概要

事務局が進行役となり、各担当の章に係る修正案の説明及び審議を行った。その結果、箇条番号の順番は水道維持管理指針を参考として整理する、事故事例は一括掲載、図等は既存のデータ等を使用し出典明記を行うことなどを確認し、修正版を全体の小委員会に提示することとした。

#### (1) . 3. ③ 工業用水道維持管理指針検討小委員会(平成26年度第1回)

- 日時 平成26年10月1日(水) 14:00~16:20  
場所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 綾顧問 ほか15名  
来賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名  
次第 開会  
委員の紹介  
委員長挨拶  
議題  
1) 修正案について  
2) 今後の進め方について  
3) その他

#### 概要

出席委員の紹介に、綾委員長の挨拶に引き続き各議題の説明、審議が行われた。

その結果、事前の意見への対応の確認、参考文献等の掲載年号等の掲示、書体の統一、字句等の修正の確認、水の流れに沿った表記への変更、SI単位での表記等を行うこととし、各章については、第2章の海水取水の削除、第3章の全体フロー図の削除、第6章に水質の事例追加等、委員会指摘事項を反映することを確認したうえで、構成等は原案通りで了承された。

今後の開催頻度等およびそのスケジュールについて、原案通りで了承された。

また、当日の審議結果を反映した改訂案について、各担当委員が修正作業を行い、小委員会委員の確認及び合同委員会への報告と当該委員会委員からの意

見聴取を行うことも確認された。

(1) . 3. ④ 工業用水道維持管理指針検討小委員会（関連産業会員委員）  
（平成26年度第3回）

日 時 平成27年1月23日（金） 15:00～16:30  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 7名  
次 第 議 題  
1) 修正案の作成について  
2) その他

概 要

事務局が進行役となり、各担当の章に係る小委員会委員及び合同委員会委員からの意見等について審議を行った。

その結果、用語の統一、排水基準等の各種基準の更新等の確認を行うとともに、修正案作成の期日等の確認を行った。

(1) . 3. ⑤ 工業用水道維持管理指針検討小委員会（平成26年度第2回）

日 時 平成27年3月16日（月） 14:00～16:40  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 綾顧問 ほかに12名  
来 賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官  
次 第 開 会  
議 題  
1) 前回議事録の確認について  
2) 修正案について  
3) 今後の進め方について  
4) その他

概 要

出席委員の紹介に引き続き、綾顧問の委員長挨拶に引き続き各議題の説明、審議が行われた。

その結果、前回議事録については、原案通りで了承された。用語の統一、参考文献等の表記の統一、引用箇所明確化、図・写真の更新、現行の付表の更新、阪神・淡路大震災や東日本大震災における工業用水道の被害状況写真の収録及び工業用水道施設の技術的基準を定める省令（経済産業省令第2号 平成27年1月20日）の全文収録等を確認した。

また、委員会意見等を反映した最終版を再度小委員会委員に確認することとした。

(1) . 4 工業用水道事業費補助金交付要領細則及び工業用水道工事設計標準歩掛表改訂委員会

(1) . 4. ① 交付要領細則及び歩掛表改訂検討小委員会（第1回）

日 時 平成26年7月16日（水） 14:00～16:10  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 千葉県企業庁今関施設設備課副課長 ほかに17名  
経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほかに4名  
次 第 開 会  
挨 拶

委員の紹介  
委員長の互選  
議 題

- 1) 委員会の進め方について
- 2) 改訂方針について
  - (1) 交付要領細則について
  - (2) 歩掛表について
- 3) その他 次回開催期日

概 要

本郷専務理事の委員会設置の趣旨等の挨拶に引き続き、板倉工業用水道計画官の挨拶の後、産業施設課木全補佐はじめ担当官の紹介、委員等出席者全員の自己紹介が行われた。

委員長には、今関委員を互選し、委員長挨拶に引き続き、各議題の説明・審議等が行われた。

その結果、委員会設置の確認及び全体スケジュールについては原案どおり了承され、交付要領細則の改訂の方向性及び項目、歩掛表の改訂の方向性及び項目については、当面の改訂作業は原案に沿って事務局が整理していくことを確認した。

また、各事業体委員から積算に使用している歩掛等の現状についての説明と課題等についても提示され、それぞれについて意見交換・情報交換等も行われた。

(1) . 4. ② 交付要領細則及び歩掛表改訂検討小委員会（第2回）

日 時 平成26年11月26日（水）14：00～17：20  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 千葉県企業庁今関施設設備課副課長 ほか17名  
経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか2名  
次 第 開会  
議 題

- 1) 前回議事概要の確認について
- 2) 改訂案について
  - (1) 歩掛表改訂案
  - (2) 細則修正素案
- 3) その他 次回開催期日

概 要

事務局の開会に引き続き、出席委員等の紹介を行い、今関委員長のもと各議題の審議が行われた。また、第1回委員会以降の経過について事務局からの報告も行った。

その結果、細則修正素案については、厚生労働省等他省庁の歩掛表を引用することが了承されるとともに、工業用水道労務単価表等一部追加修正することを確認し、構成等は原案通りで了承された。

歩掛表改訂案については、管布設工の全文削除、水管橋積算基準の本文化とともに落橋防止に関する表記の追加、塗装の表記の更新等原案どおりで了承された。また、落橋防止に関連して使用している歩掛等の使用状況等の報告等が各委員からあり、これについての意見交換等も行われた。

細則及び歩掛表それぞれについて、委員会指摘事項を反映した修正版を事務局が整理し、当該小委員会委員に提示するとともに、合同委員会への報告と当

該委員会委員からの意見聴取を行い、いただいた意見等を反映した修正案について、委員長と調整後次回委員会に提示することが確認した。

(1) . 4. ③ 交付要領細則及び歩掛表改訂検討小委員会（第3回）

- 日時 平成27年1月14日（水）14：00～17：00  
場所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 千葉県企業庁今関施設設備課副課長 ほか17名  
経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名  
次第 開会  
議題  
1) 前回議事概要の確認について  
2) 改訂案について  
    (1) 歩掛表改訂案  
    (2) 細則改訂案  
3) 交付要領細則及び歩掛表改訂検討小委員会報告案  
4) その他

概要

事務局の開会に引き続き、今関委員長のもと各議題の審議が行われた。また、第2回委員会以降の経過について事務局からの報告が行われた。

その結果、細則修正素案については、一部表記の修正を行うとともに、一部の表記の取扱いは、委員長等と調整後修正案を提示とすることとし、他については原案通りで了承された。

歩掛表改訂案については、一部の表記の修正の確認を行うとともに、輸送費は現地架設工事編で取り扱うこととした。また、歩掛表の全体構成も含めてこれら以外は原案どおりで了承された。

当該小委員会の活動報告についても原案どおりで了承された。

交付要領細則及び歩掛表改訂案、活動報告は、合同委員会及び理事会報告後、経済産業省産業施設課への報告となることを報告し、理事会等から意見対応は委員長一任で了承された。

(なお、これらの改訂案は、第14回理事会決議を経て平成27年2月12日付で経済産業省産業施設課長宛提出済み。また、事業者会員へは2月13日にメールで報告済み。)

(1) . 5 関連産業委員会

(1) . 5. ① 関連産業委員会（平成26年度第1回）

- 日時 平成26年6月25日（水）16：30～17：30  
場所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 日本ダクティル鉄管協会本山理事長 ほか12名  
来賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名  
次第 開会  
議題  
1) 平成25年度関連産業委員会事業報告・収支決算（案）／平成26年度事業計画・収支予算（案）  
2) 関連産業委員会視察等の開催予定について  
3) 工業用水道事業研究大会における関連産業会員による技術紹介について－実施方法（案）－  
4) 関連産業会員による協会HP上の広告について

## 5) その他

### 概 要

本山委員長の挨拶に引き続き、ご来賓の経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官から挨拶を頂いた。引き続き配付資料の確認を行い、各議題について委員長の要請に基づき事務局が行い、各議題の審議が行われた。

事業・会計報告については、平成25年度関連産業委員会事業報告（案）及び収支決算報告（案）、平成26年度関連産業委員会事業計画（案）及び収支予算（案）がそれぞれ原案どおり了承され、9月11～12日に呉市上下水道局の協力のもと、工業用水道施設の視察及びユーザーの視察が確認された。

工業用水道事業研究大会における関連産業会員の技術紹介及びこれに係るアンケートの実施等については、原案どおり了承された。また、会員名簿のホームページ上での運用等について意見交換を行った。

### (1) . 5. ② 関連産業委員会（平成26年度第2回）

日 時 平成26年9月11日（木）14:00～18:00

場 所 呉阪急ホテル 会議室

出席者 委員長 日本ダクティル鉄管協会本山理事長 ほか17名

来 賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか 2名

呉市上下水道局 長原上下水道事業管理者 ほか 1名

議 題 1) 平成26年度協会事業の概要

2) 委員会規約の改正

3) その他

### 概 要

呉市上下水道局のご協力を得て1日目は、呉市内の呉阪急ホテルにおいて、関連産業委員会を開催した。

関連産業委員会に先立ち、呉市上下水道局本庄水源池及び宮原浄水場の施設視察を行った。

関連産業委員会は、本郷専務理事、本山委員長の挨拶に引き続き、地元呉市上下水道局長原上下水道事業管理者の挨拶を頂いた。引き続き、ご来賓の経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官から、挨拶と「工業用水道における最近の動向について」と題して講話を頂いた。

引き続き各議題について、委員長からの要請で、事務局から説明を行い、関連産業委員会規約の改正、会員名簿の発行等について、原案どおり了承され、協会運営委員会、理事会に報告していくことを確認した。

2日目午前中は、ユーザー企業の王子マテリア（株）呉工場の視察を行った。

### (1) . 6 編集委員会（後述の編集委員会第5回参照。）

日 時 平成26年12月17日（水）15:30～17:30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほか18名

### 概 要

平成26年掲載の論文の中から論文賞の選考を行うとともに、第50回研究発表会（平成27年2月）の運営、応募発表及び日刊工業新聞社賞の審査、プログラム編成を行った。

### (1) . 7 研究発表会（第50回）

日 時 平成27年2月25日(水)・26日(木)  
場 所 東京市ヶ谷 自動車会館 大会議室  
参加者 130名  
来 賓 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官  
概 要

編集委員会小泉委員長の挨拶に引き続き、来賓の経済産業省産業施設課板倉工業用水道計画官からの挨拶を頂いた。次に1年間の協会誌「工業用水」に掲載された論文の中から優れた論文に対し会長表彰する論文賞として、会長代理の小泉編集委員会委員長から「オゾンを用いた促進酸化処理による1,4-ジオキサンの分解」、奨励賞として「水処理における紫外線消毒技術」に対しそれぞれ賞状と副賞が授与された。次に、日刊工業新聞社賞を同社小松総務局総務部長から「断層用鋼管の開発」に尽力されたJFEエンジニアリング(株)に賞状と記念品が贈られた。

上記の受賞記念講演に加え、第50回研究発表会記念の特別公演が、山本顧問により行われた。

研究発表に入り、20件の研究発表並びに活発な質疑応答が2日間にわたって行われた。

#### (1) . 8 情報の提供関連

平成26年7月に、同年3月末時点の工業用水道事業者における資機材の備蓄情報を収集整理し、事業者会員はじめ全国の工業用水道事業者、経済産業省及び(独法)水資源機構に情報提供を行った。

あわせて事業者会員等には、メールで工業用水料金一覧を整理し情報提供を行った。

#### (1) . 9 水道分野における官民連携推進協議会関連

(厚生労働省、経済産業省、日本水道協会との共催)

##### 概 要

我が国の水道分野(水道事業及び工業用水道事業)を取り巻く環境が年々厳しさを増す中、これらの課題に対して、広域化の推進や官民連携、水道事業と工業用水道事業との連携など地域の実情を勘案し、多様な形態により運営基盤の強化を推進することが不可欠であり、厚生労働省と経済産業省が連携し、水道事業者等と民間事業者との間におけるマッチング促進を目的とした「水道分野における官民連携推進協議会」を以下の体制で開催した。

実施体制 主催 厚生労働省、経済産業省

共催 (公社)日本水道協会、(一社)日本工業用水協会

本取組は、「水道分野における関係者連絡会議」における活動の一環

##### 開催状況

###### 第1回協議会

平成26年 8月20日(水) 都内経済産業省本館 参加177名

###### 第2回協議会

平成26年10月10日(金) 新潟県新潟市 参加 99名

###### 第3回協議会

平成26年12月 5日(金) 宮城県仙台市 参加138名

###### 第4回協議会

平成27年 2月20日(金) 福岡県福岡市 参加157名

(2) 出版に関する事業

(2) .1 編集委員会

(2) .1. ① 編集委員会（平成26年度第1回）

日 時 平成26年4月7日（月）15：00～17：30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほかに15名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 浜野工業用水道計画官  
総務省公営企業経営室 笠井課長補佐

次 第 開 会

議 題

- 1) 2014年後半各号の編集について
- 2) 工業用水道維持管理等関連記事の企画について
- 3) 論文要旨等のホームページ掲載について
- 4) その他

概 要

小泉委員長の挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題について審議が行われた。

各号掲載予定の査読結果を確認し、5月号には産総研原稿を特別寄稿とし技術報告1編を、7月号には事業体からの投稿1編は総説、技術報告1編を加え、論文集3編とすることを確認した。

維持管理等関連については、出来るだけ多くの事例を収集することとし、過去投稿の工業用水道事業者、関連産業会員を中心とすることとし、9月号以降順次掲載を予定することとした。また、論文要旨等のホームページ掲載内容は事務局案で了承された。

(2) .1. ② 編集委員会（平成26年度第2回）

日 時 平成26年6月20日（金）15：00～16：30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほかに14名

オブザーバー 総務省公営企業経営室 笠井課長補佐

次 第 開 会

議 題

- 1) 2014年度後半各号の編集について
- 2) 工業用水道維持管理特集の企画について
- 3) その他

概 要

小泉委員長の挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題の審議が行われた。

2014年度後半各号の編集については、各号掲載予定の査読結果を確認し、9月号掲載予定の新着原稿の査読について依頼した。11月号については、各委員に水質試験特集の投稿要請を行った。

工業用水道維持管理特集については、工業用水道事業に関しては、編集委員会及び常設委員会構成の事業体に、メーカー等に関しては、委員会構成の関連産業委員を中心にそれぞれ依頼することとした。

(2) . 1. ③ 編集委員会（平成26年度第3回）

日 時 平成26年8月6日（水）15:00～17:00

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほか14名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名

総務省公営企業経営室 笠井課長補佐

次 第 開 会

議 題

- 1) 2014年度後半各号の編集について
- 2) 工業用水道維持管理特集の企画について
- 3) その他

概 要

小泉委員長の挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題の審議が行われた。

2014年度後半各号の編集については、各号掲載予定の査読結果を確認し、11月号の水質試験特集への各委員からの投稿要請を行った。

工業用水道維持管理特集については、1月、3月、5月等への掲載を了承し、工業用水道事業体に関しては、編集委員会及び常設委員会構成の事業体に、メーカー等に関しては、委員会構成の関連産業委員のほか10社程に依頼することを確認した。

(2) . 1. ④ 編集委員会（平成26年度第4回）

日 時 平成26年10月15日（水）15:00～16:30

場 所 日本工業用水協会 会議室

出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほか15名

オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官

総務省公営企業経営室 笠井課長補佐（代理 伊藤事業係）

次 第 開 会

議 題

- 1) 2014年度後半各号の編集について
- 2) 第50回研究発表会の企画について
- 3) その他

概 要

小泉委員長の挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題の審議が行われた。

2014年度後半各号の編集については、各号掲載予定の査読結果を確認し、11月号掲載予定の水質試験方法特集3編の内、1編については表題の変更依頼で掲載し、1編については解説として掲載し、1編については論文集として掲載することとした。

1月号掲載予定の新着原稿の査読について依頼し、工業用水道維持管理特集については、事業体からの原稿は事業体編集委員、関連産業会員からの原稿は関連産業編集委員が査読することを確認した。

第50回研究発表会については、記念講演として山本顧問、並木顧問に講演を依頼することとし、日刊工業新聞社賞への応募状況を報告した。

(2) . 1. ⑤ 編集委員会（平成26年度第5回）

日 時 平成26年12月17日（水）15:30～17:40

場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほか14名  
オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官 ほか1名  
総務省公営企業経営室 笠井課長補佐

議 題

- 1) 論文賞の選考について
- 2) 2015年前半各号の編集について
- 3) 第50回研究発表会について
  - (1) 日刊工業新聞社賞
  - (2) プログラム編成等
- 4) その他

概 要

小泉委員長の挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題の審議が行われた。

論文賞は、推薦のあった2編について推薦理由の説明があり審議の結果、論文賞には「オゾンを用いた促進酸化処理による1,4-ジオキサンの分解」、奨励賞には「水処理における紫外線消毒技術」（2編ともNo.622号掲載）が選考された。

2015年前半各号の編集については、各号掲載予定の査読結果を確認し、1月号掲載予定の工業用水道維持管理特集関連原稿の区分・掲載順の確認を行った。3月号掲載予定の工業用水道維持管理特集関連及び予算特集関連等各原稿の区分・掲載順の確認を行い、5月号掲載予定の新着現行の査読依頼を行った。

第50回研究発表会について、日刊工業新聞社賞の応募案件の検討を行い、JFEエンジニアリング（株）の「断層用鋼管の開発」の受賞が承認された。また、当日プログラムの編成及び運営座長の調整・決定が行われた。

(2) . 1. ⑥ 編集委員会（平成26年度第6回）

日 時 平成27年2月13日（金）15:00～17:00  
場 所 日本工業用水協会 会議室  
出席者 委員長 小泉首都大学特任教授 ほか15名  
オブザーバー 経済産業省産業施設課 板倉工業用水道計画官  
総務省公営企業経営室 笠井課長補佐

次 第 開 会  
議 題

- 1) 2015年前半各号の編集について
- 2) その他

概 要

小泉委員長の挨拶に引き続き、配付資料の確認を行い、各議題の審議が行われた。

2015年前半各号の編集については、各号掲載予定の査読結果を確認し、3月号掲載予定は原案どおりで了承された。5月号掲載予定原稿の区分・掲載順の確認を行うとともに、査読依頼も行った。

その他として、日本工業用水協会が研究発表会で発表するデータを示し、収集されたデータからのグラフデータを資料として今後順次掲載する予定を提案し、了承された。

(2) . 2 出版図書

・会誌「工業用水」平成26年5月～平成27年3月号 (No. 624～629)

(3) 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定に関する事業

(3) . 1 工業用水道管・弁類等製造事業場の認定

事業体委員で構成される「管・弁類等製造事業場認定委員会」により、製造事業場の設置、検査法、品質管理等について審査を行った結果、次の11事業場を認定工場として更新を承認した。

認定年月日	認定番号	認定事業場名	認定の対象となる製品の名称
26・5・8	第57号	大成機工(株) 三田工場	水道用铸铁异形管
26・6・1	第49号	(株)清水合金製作所	水道用弁類全般
26・8・13	第42号	(株)清水鐵工所	弁類
26・9・21	第58号	日本ヴィクトリック(株) 神戸工場	伸縮可撓継手
26・10・14	第2号	(株)クボタ 京葉工場	ダクタイル铸铁直管 ダクタイル铸铁异形管
26・10・14	第3号	(株)クボタ 阪神工場	ダクタイル铸铁直管 ダクタイル铸铁异形管 ソフトシール仕切弁
26・10・14	第4号	(株)栗本鐵工所 加賀屋工場	ダクタイル铸铁管 ダクタイル铸铁异形管
26・10・14	第15号	(株)栗本鐵工所 堺工場	ダクタイル铸铁管
26・10・14	第29号	JFEエンジニアリング(株) JFE大径鋼管(株)	配管用アーク溶接炭素鋼鋼管 水輸送用塗覆装鋼管
26・10・15	第5号	日本铸铁管(株) 本社・工場/高崎工場	ダクタイル铸铁管 ダクタイル铸铁异形管
27・1・30	第26号	東亜外業(株) 東播工場	水輸送用塗覆装鋼管

(3) . 2 管・弁類の委託検査

工業用水道において使用するダクタイル铸铁管、鋼管、硬質塩化ビニル管、弁類等の検収検査を(公社)日本水道協会に委託して行った。

(4) 受託調査等

河川整備基金助成事業「工業用水道の取水地点及び配水地点における水質の推移の整備と普及啓発」について、事業者会員から水質データのご提供等のご協力をいただき、その整備を行い報告書にとりまとめるとともに、その成果を協会ホームページで公表した。